

## 1 現状

2020年から感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により、障がい福祉サービス等事業所において新しい生活様式に沿った感染症対策に取り組むとともに、継続した障がい福祉サービス等の提供体制を確保することが求められています。

## 2 令和3年度実績報告（令和3年4月～12月）

障がい福祉サービス等を安心して利用できる体制を確保できるよう、国や県が実施する補助制度等も積極的に活用しながら、以下のとおり対応策を実施しました。

### I 施設・事業所における新型コロナウイルス感染症対策の徹底

#### ①感染対策補助金の実施（市単独事業）

令和3年4月1日から9月30日の間に、利用者が安心して事業所を利用できる環境の構築として「飛沫防止対策、室内換気対策、除菌・防菌対策、その他の感染防止に効果があると認められる対策、衛生用品の充実」に取り組む事業所（81事業所）に対して10,531,000円補助しました。

#### ②衛生用品の配布（国からのあっせん）

社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生・防護用品として厚生労働省から自治体に毎月配布されるマスクと手袋について、令和3年5月と12月に市内障がい福祉サービス等事業所を運営する法人（延べ138法人）に対して、マスク85,400枚及び手袋821,000枚を配布しました。

#### ③利用者・従事者向けの新型コロナウイルスワクチン優先接種（市単独）

令和3年6月24日に、基礎疾患を有する者等として市内入所系障がい福祉サービス等事業所の利用者・従事者のうち希望する21事業所404人に対して、接種券を優先的に配布しました。

令和3年7月に、愛知県の大規模接種において市内障がい福祉サービス等事業所の従事者のうち希望する91人分を確保し、ワクチン接種を推進しました。

#### ④PCRスクリーニング検査（愛知県連携）

重症化リスクが高い障がい者等を感染から守るため、職員の感染を早期に発見しクラスターの発生を予防することを目的に、令和3年4月から11月にかけて愛知県と連携して市内障がい福祉サービス等事業所の従事者がPCR検査を受けられる体制を確保し、延べ4,367人が受検しました。

### II 障がい福祉サービス等の提供体制の継続

#### ⑤サービス継続体制確保支援事業補助金の実施（国県補助金活用）

感染者等が発生した場合において、障がい福祉サービス等の提供を継続するための感染拡大防止対策の徹底としてサービスの継続に必要な経費に対する補助を1事業所に44,000円、感染者が発生した施設・事業所からの利用者の受入れや当該施設・事業所への応援職員の派遣等、協力する施設・事業所において必要な経費に対する補助を3事業所に238,000円実施しました。

#### ⑥事業所版BCP策定説明会の実施（国補助金活用）

感染者等が発生した場合における業務継続計画の策定方法について、令和3年11月16日に27事業所、12月22日に12事業所に対して説明しました。